不二製油株式会社

個人投資家向け
会社説明会

2025年5月

不二製油株式会社（証券コード：2607）
コーポレートコミュニケーション部 IR課
千野 万里恵

目次

不二製油株式会社

1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	成長戦略と課題への対処
4章	サステナブルな食の未来に向けて

目次

不二製油株式会社

1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	成長戦略と課題への対処
4章	サステナブルな食の未来に向けて

会社概要

不二製油株式会社

商号	不二製油株式会社
証券コード	2607（東証プライム）
社長執行役員 CEO	大森 達司
本社	大阪府泉佐野市

設立
1950年

業績
売上高 6,712億円
営業利益 99億円
2024年度実績

海外売上高比率
67%
2024年度実績

従業員
5,654人
2025年3月31日時点

特許取得数
3,488件
2025年3月31日までに登録された
不二製油（株）の全世界における
特許件数の合計。実案・意匠を含む。

時価総額
約2,600億円
2025年5月20日時点

不二製油グループの主な拠点

不二製油株式会社

14カ国38社

2025年3月31日時点の
連結子会社

日本

欧米

- アメリカ
- ベルギー
- ブラジル
- ドイツ
- ガーナ

など

アジア

- シンガポール
- 中国
- マレーシア
- オーストラリア
- インドネシア
- タイ

など

株主優待・配当

不二製油株式会社

優待品

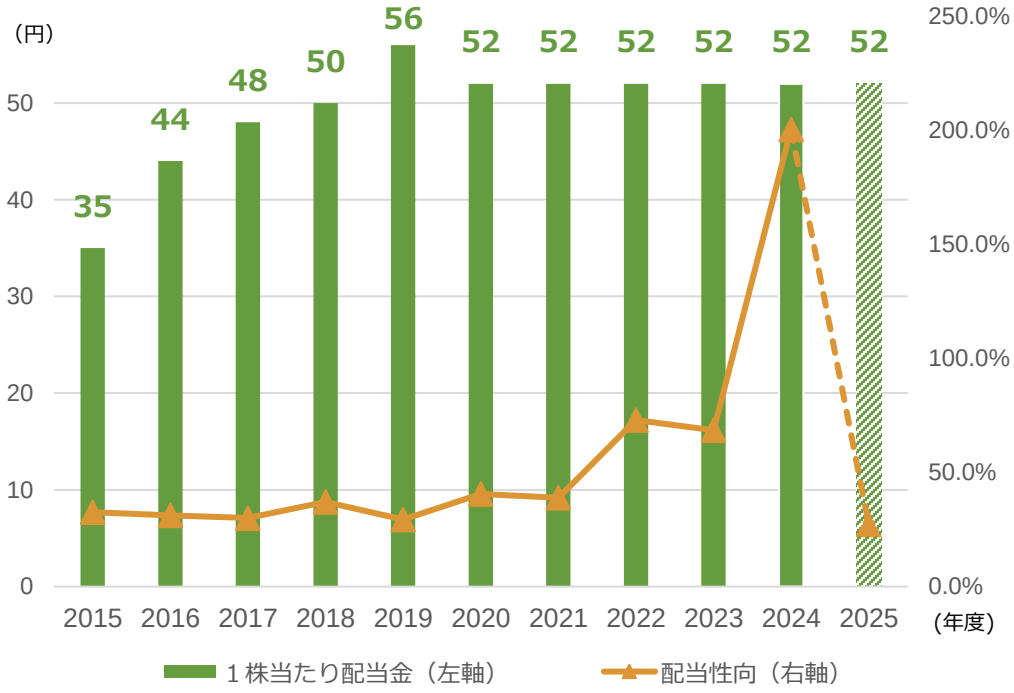
チョコレートや大豆ミートなど当社グループ関連製品をお届け。

保有条件：100株以上を半年以上継続保有
基準日　：３月末日
同年度の9月末日および3月末日を基準日とする株主名簿に同一株主番号・100株以上保有で記載された株主様

＊詳細は当社HP IR情報「個人投資家のみなさまへ」をご覧ください
https://www.fujioil.co.jp/ir/stock/benefit/

配当

安定的かつ継続的な配当の実施。



＊2025年度は予想値

会社紹介動画

不二製油株式会社

https://api01platform.stream.co.jp/apiservice/plt3/NDU1MA%3d%3d%23MTI4%23280%23168%230%233FE2A0D9E400%23MDoyOjc6YTpmOzEwOzEwOzEw%23

不二製油の歴史

不二製油株式会社

「人マネをしていては道はない」独自の開発を重視

最後発の油脂会社として創業

原料統制下で油脂原料が不足、技術も設備もなく、厳しい事業環境。

1950年創業当時の不二製油

「人マネをしていては道はない」

独自の研究開発を重視。当時の日本で食用の実用化がなされていなかった南方系油脂に着目。

二代目社長
西村　政太郎

パーム

日本初の多くの製品を創出

不二製油株式会社

研究開発・製造技術を培い、多くの製品を生み出し、日本の食文化に貢献。

チョコレート用油脂

高脂肪クリームの無菌充填

コーティングチョコレート

植物性チーズ
ティラミスブームを巻き起こす

ビジネスモデル

不二製油株式会社

主要原料 | 不二製油 | 顧客 | 消費者

パーム油

カカオ

大豆

B to B の食品中間素材メーカー

植物性油脂事業

食用加工油脂

チョコレート用油脂

業務用チョコレート事業

チョコレート

乳化・発酵素材事業

クリーム

フィリング

大豆加工素材事業

大豆たん白素材

機能剤

食品メーカーなど

- 飲料メーカー
- 製菓メーカー
- 製パンメーカー
- リテール
- 外食チェーン
- 学校給食

etc.

課題解決型の提案スタイル

不二製油株式会社

フジサニープラザを活用した課題解決型提案により、BtoBとして顧客に信頼される存在に。

1977年、顧客との共同開発をする拠点として、
フジサニープラザ東京を開設。
その後、グローバルにフジサニープラザを拡大。

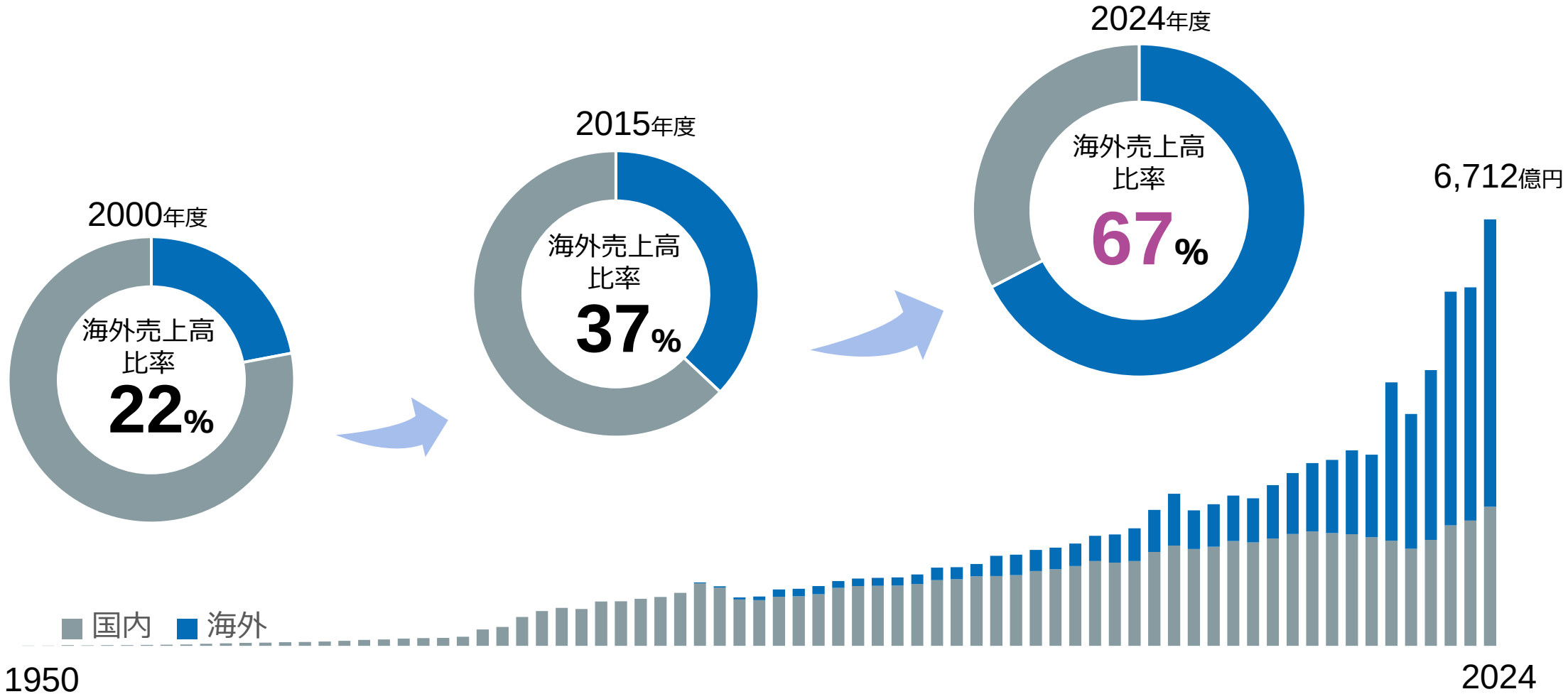
1970年代、ドイツ人マイスターを招聘し
洋菓子講習会を開催

フジサニープラザ所在地

海外事業を拡大

不二製油株式会社

1980年代より本格的に海外進出。2010年以降、M&Aを進め海外事業を拡大。



事業領域

不二製油株式会社

植物性油脂事業

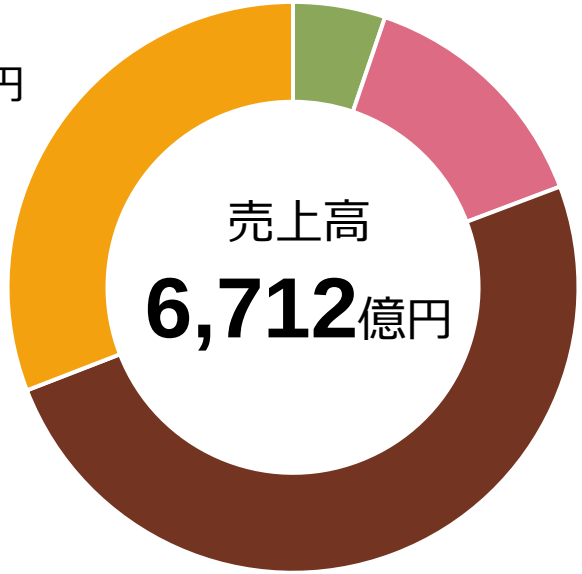
売上高 **2,073**億円　営業利益 **263**億円

シェア
チョコレート用油脂CBE*1 | 日本　**1**位
世界　トップ**3**

大豆加工素材事業

売上高 **351**億円　営業利益 **7**億円

シェア
水溶性大豆多糖類 | 日本　**1**位
世界　**1**位



業務用チョコレート事業

売上高 **3,347**億円　営業利益 ▲**158**億円

カカオ特殊要因を除く実質営業利益 **147**億円

シェア
業務用チョコレート | 日本 **1**位、世界 トップ**3**

乳化・発酵素材事業

売上高 **942**億円　営業利益 **34**億円

シェア
業務用ホイップクリーム*2 | 日本　**1**位

*1 Cocoa Butter Equivalent。カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。
*2 植物性脂肪を含むホイップクリームを指す。

不二製油のソリューション　～チョコレート～

不二製油株式会社

チョコレート菓子

暑いと溶ける

寒いと口どけしづらい

チョコレートアイス

噛んだ時にコーティング

チョコレートが剥がれる

チョコレート用油脂の組み合わせにより

季節・気候・食べ方に応じた

おいしさを実現

チョコレート用油脂
（植物性油脂事業）

コンパウンドチョコレート
（業務用チョコレート事業）

不二製油のソリューション　～ホイップクリーム～

不二製油株式会社

ホイップクリーム

当日おいしいホイップクリームも

翌日になると、パサパさになる

油脂や乳化・発酵の技術により

みずみずしさを保つ

ホイップクリームを設計

ホイップクリーム
（乳化・発酵素材事業）

不二製油のソリューション　～機能剤～

不二製油株式会社

酸性乳飲料

時間がたつと、乳の成分が沈むため

長期流通が難しい

おからを原料にした機能剤により

時間がたっても

安定した状態を保つ

機能剤
（大豆加工素材事業）

目次

不二製油株式会社

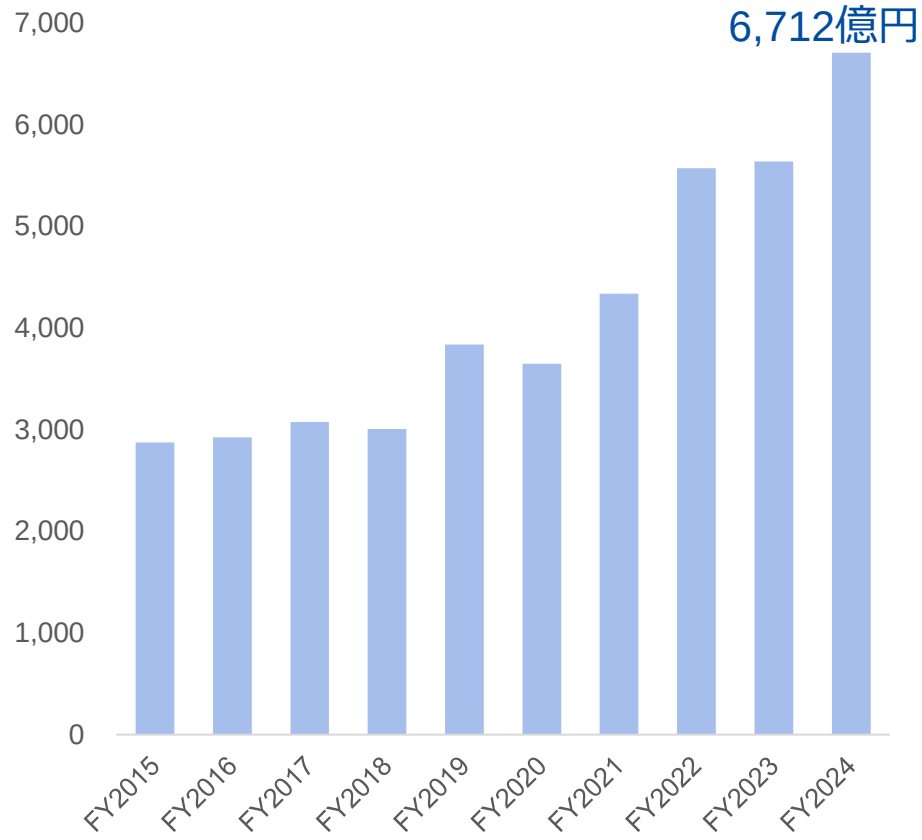
1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	成長戦略と課題への対処
4章	サステナブルな食の未来に向けて

業績推移

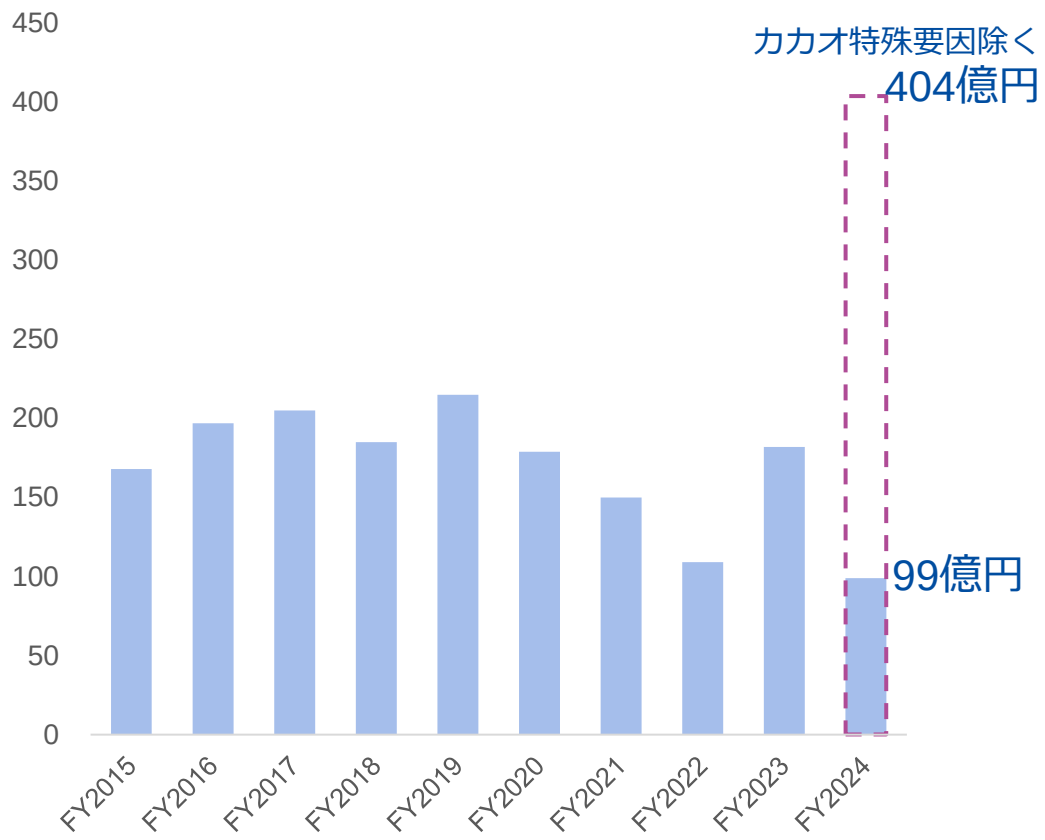
不二製油株式会社

売上高は拡大。営業利益は、既存事業は順調も、ブラマー（米国）の業績低迷により低調に推移。

売上高



営業利益



*FY2019実績は海外子会社15ヶ月決算のため、12ヵ月決算期変更後の実績

2024年度 実績／事業別

不二製油株式会社

植物性油脂事業は過去最高益を更新する一方、カカオ特殊要因が発生。

植物性油脂事業

最高益

売上高		営業利益	
FY2023	FY2024	FY2023	FY2024
1,854	2,073 億円	154	263 億円

業務用チョコレート事業

売上高		営業利益	
FY2023	FY2024	FY2023	FY2024
2,534	3,347 億円	18	▲158 億円

FY2024
カカオ特殊要因を除く**実質営業利益** 147 億円

乳化・発酵素材事業

売上高		営業利益	
FY2023	FY2024	FY2023	FY2024
899	942 億円	38	34 億円

大豆加工素材事業

売上高		営業利益	
FY2023	FY2024	FY2023	FY2024
355	351 億円	10	7 億円

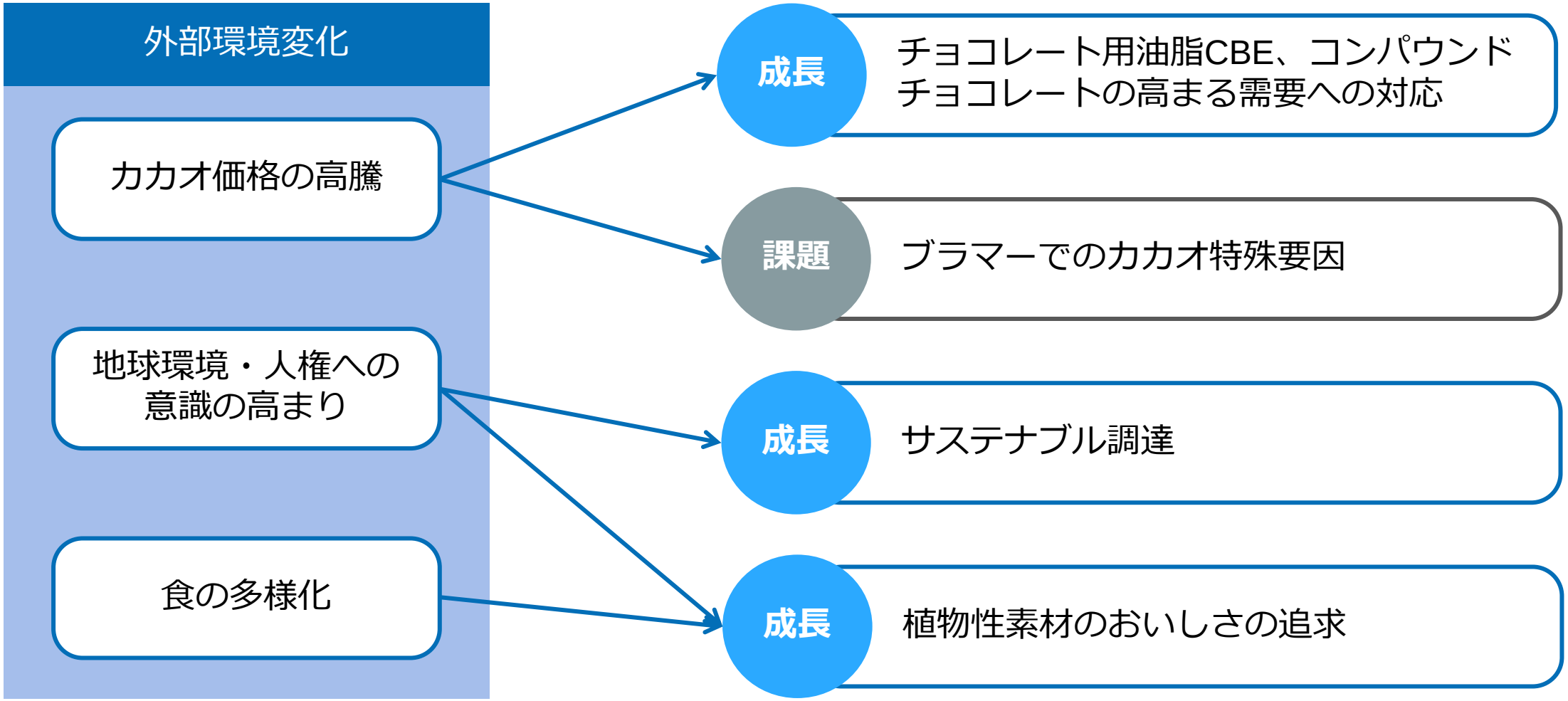
目次

不二製油株式会社

1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	成長戦略と課題への対処
4章	サステナブルな食の未来に向けて

成長戦略と課題

不二製油株式会社



市場環境

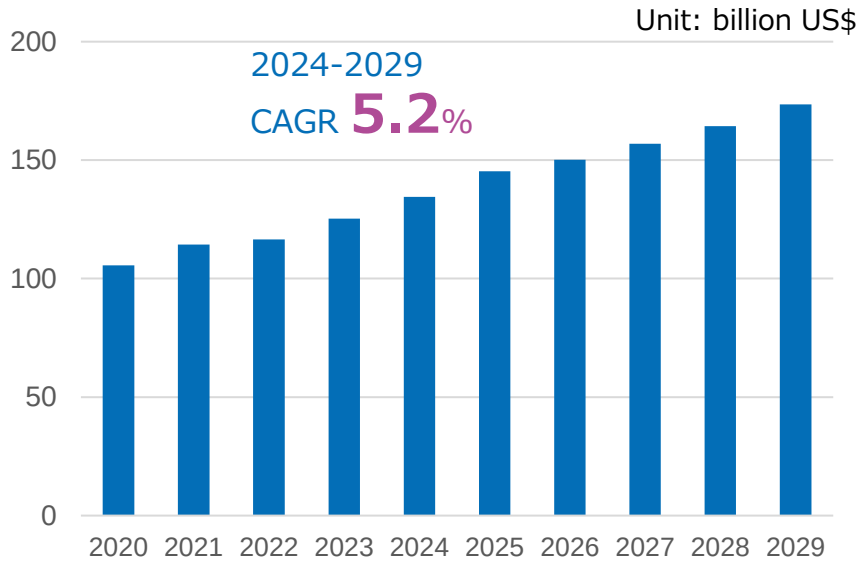
不二製油株式会社

チョコレート菓子市場は成長する一方で、カカオ豆の生産数量の大幅な拡大は難しい。

チョコレート菓子マーケット予測

人口増加、経済成長に伴い、チョコレート菓子の市場規模は拡大する見通し。

世界のチョコレート菓子市場

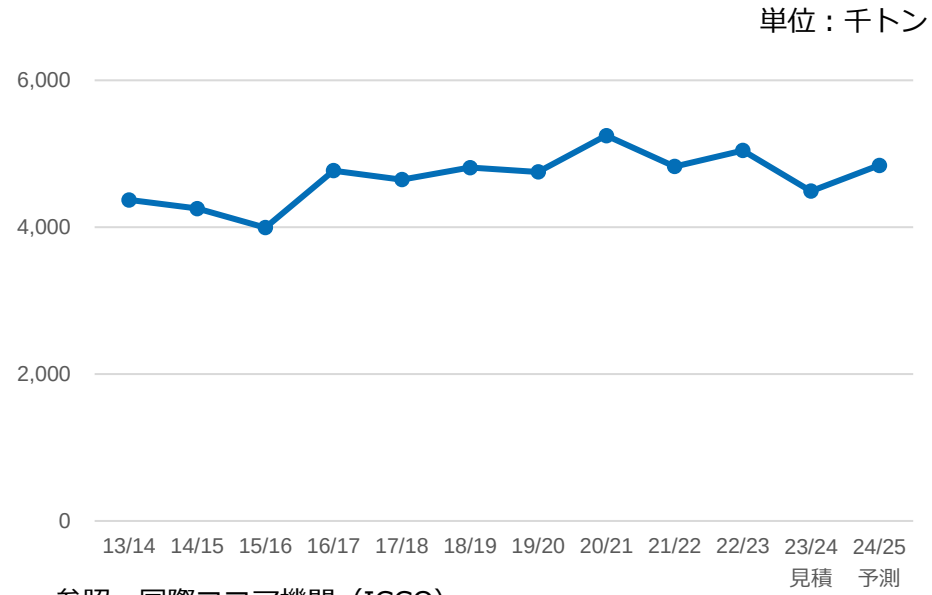


参照：Euromonitor Chocolate Confectionery 2024
Geography: world, category: chocolate confectionery
Data type: Retail Value RSP

カカオ豆の生産数量

カカオは植樹から収穫まで2～4年かかり、またプランテーション化がされにくいため、生産数量を大きく伸ばすことは難しい。

カカオ豆の生産数量

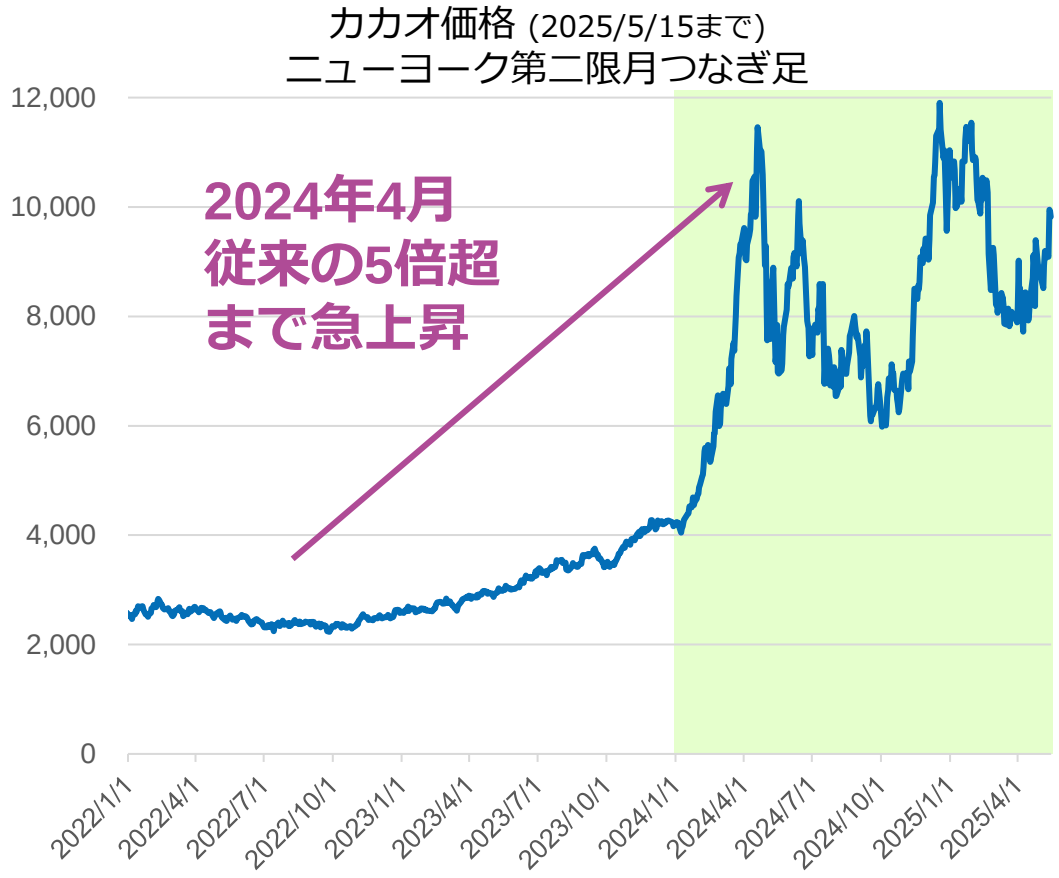


参照：国際ココア機関（ICCO）

カカオ価格の高騰

不二製油株式会社

カカオ相場は、2024年初より急騰。不二製油では、機会の獲得と課題への対応に取り組む。



参照：ICE Future U.S.

機会

チョコレート用油脂CBE、
コンパウンドチョコレートの
需要の高まり

課題

ブラマー（米国）を中心に
原料や関連コストの上昇

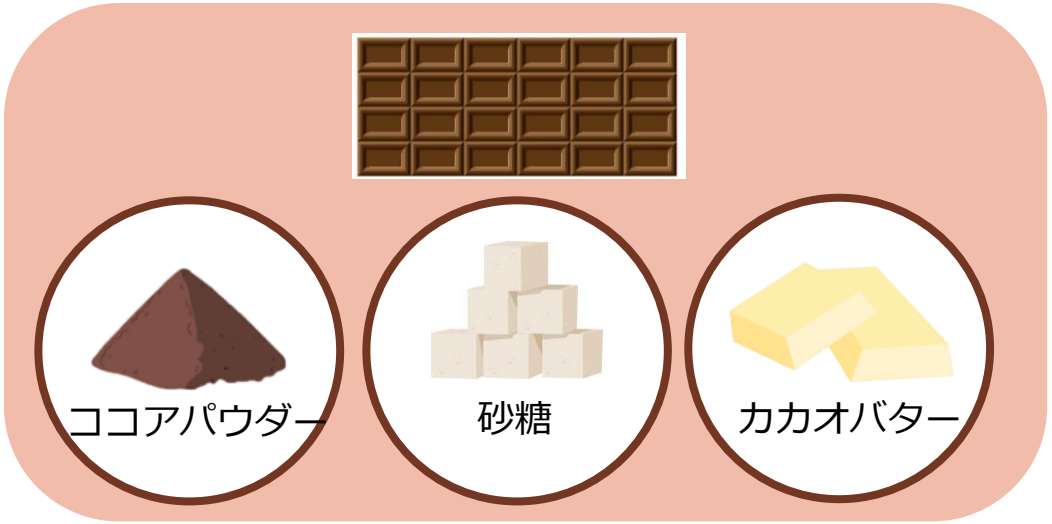
成長 **チョコレート用油脂CBE**

植物性油脂事業

不二製油株式会社

チョコレート用油脂CBEの販売数量が大きく伸長し、植物性油脂事業は2024年度過去最高益。

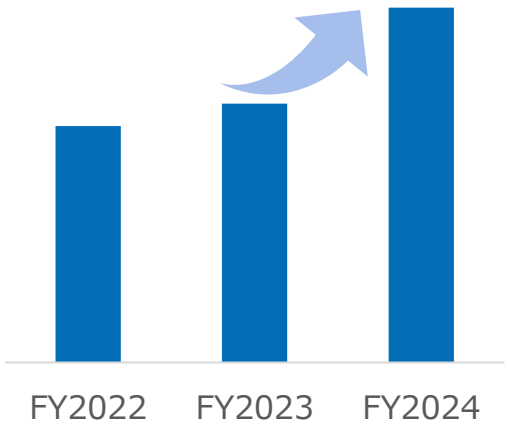
チョコレートの主な原材料



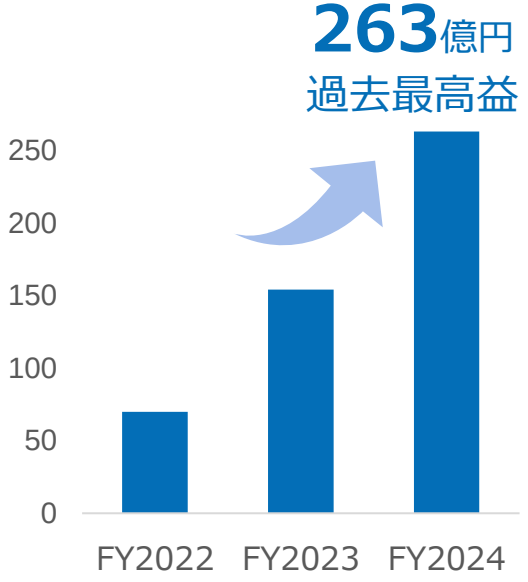
カカオバターに代替可能な
チョコレート用油脂CBE*の問い合わせが急増

2024年度実績

CBEの販売数量
（不二製油グループ会社向けの販売を含む）



植物性油脂事業
営業利益



* Cocoa Butter Equivalent。カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。

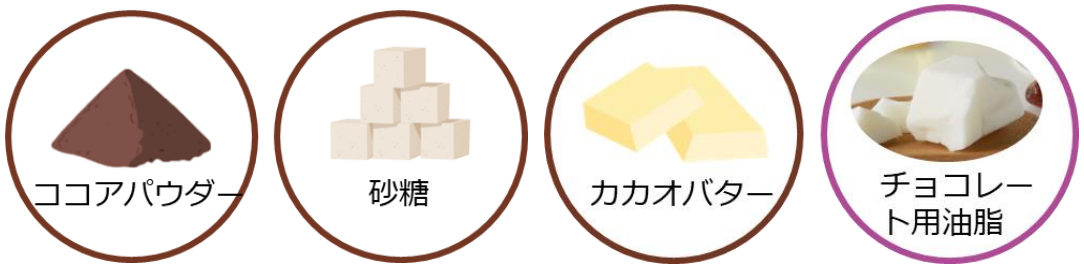
成長 コンパウンドチョコレート

不二製油株式会社

価格競争力があり、幅広い用途で使用できるコンパウンドチョコレートの販売数量が伸長。

コンパウンドチョコレート

主な原材料



カカオの使用割合を抑え、コストダウンが可能

主な使用用途

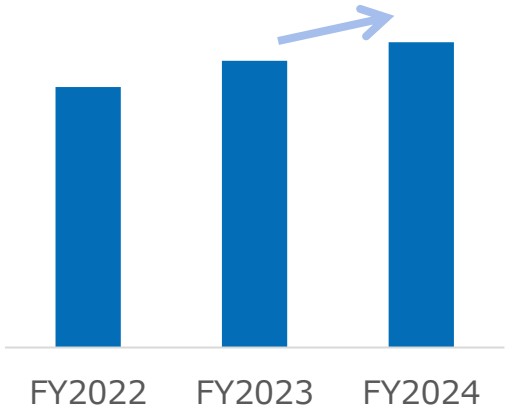
機能性を付与し、幅広い用途での使用が可能

➡コンパウンドチョコレートの需要が増加

2024年度実績

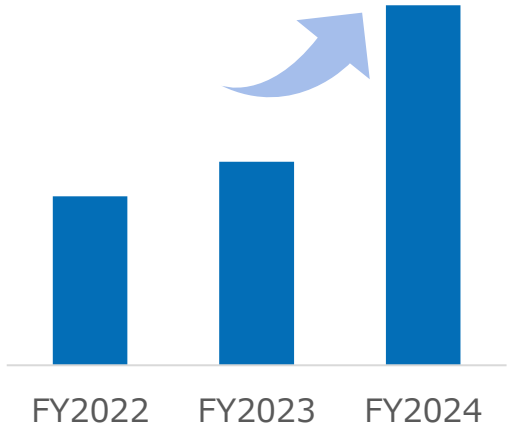
業務用チョコレート事業
販売数量（ブラマーを除く）

2024年度
前期比 **105**%



業務用チョコレート事業
営業利益（ブラマーを除く）

2024年度
前期比 **177**%



課題

ブラマー（米国）

業務用チョコレート事業

不二製油株式会社

世界最大のマーケットである米国への足掛かりとして、2019年にブラマーを買収。

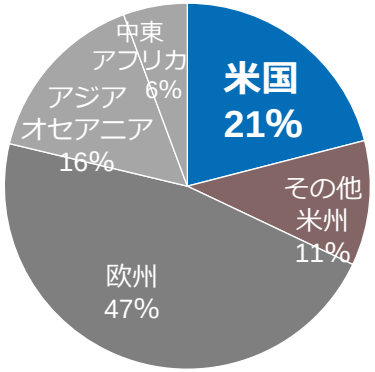
ブラマー概要

創業	1939年
事業	業務用チョコレート事業
拠点*	米国3工場、カナダ1工場、中国1工場
シェア*	米国シェア2位 (チョコ2位、カカオ1位) 世界シェア3位

* 買収当時

米国市場

地域別チョコレート菓子市場規模



参照：
Euromonitor Chocolate Confectionery

**米国は単一国家で
世界最大のマーケット**

買収の目的

不二が持つ製造ノウハウや油脂技術をブラマーに応用し、
米国でのコンパウンドチョコレートの成長を目指す。

ブラマーの強み

- 米国での高いシェア
- カカオ豆の
  サステナブル調達

ブラマーの課題

- 工場の生産性
- 油脂技術のノウハウ

不二製油の強み

- 工場の生産性（安全性・効率性）
- 油脂技術を活用したコンパウンド
  チョコレート

課題 ブラマー買収からこれまで

2024年3月に、ブラマー構造改革を発表し、課題への対応を進める。

2019年～2023年

コロナ禍など外部環境の変化に柔軟に対応できず、ブラマーの収益力が悪化。

コロナ禍での
・米国での雇用環境の変化、人材不足
・日本からの専門人材派遣の遅れ

・原材料価格の上昇
・米国での金利の上昇

工場生産性が低迷、収益力が悪化

ブラマー構造改革

2024年1月に減損計上、3月に5か年計画の構造改革を打ち出し、課題への対応を加速。シカゴ工場閉鎖によるコスト削減効果は、2024年度に顕在化。

構造改革の方針

1. シカゴ工場の閉鎖
2. カカオ加工事業の適正化
3. 差別化戦略の推進

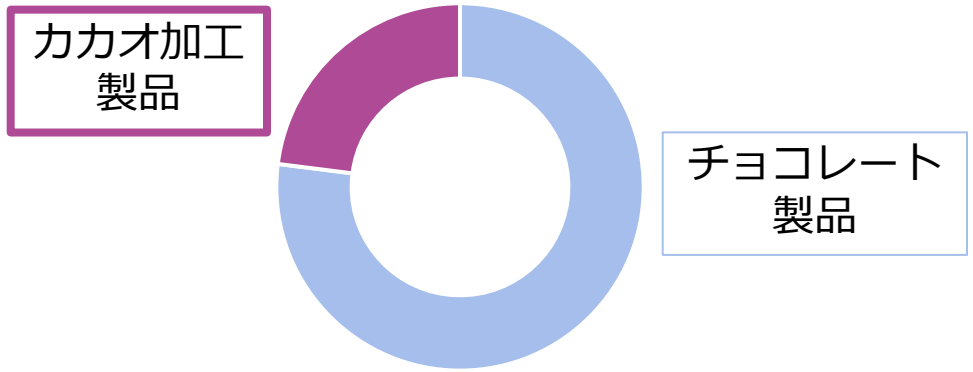
課題 ブラマーでのカカオ特殊要因と対応

2024年度、カカオ特殊要因により大きな損失が発生。

カカオ特殊要因

構造改革による改善の一方で、カカオ価格高騰が新たな課題に。他の不二製油グループと異なり、ブラマーは**カカオ加工事業を持つため、価格変動の影響を受けやすい**。

ブラマーでの
製品別数量比率 (2023年度)



2024年度実績と2025年度の見通し

2024年度、カカオ関連の特殊要因を除く営業利益は改善するも、**カカオ特殊要因が業績に大きく影響。**
施策の実行により、**2025年度には軽減**する見通し。

単位：億円

	FY2023	FY2024	前期比
売上高	1,321	**1,809**	+489
営業利益 (のれん償却除く)	▲52	**▲312**	▲259
カカオ特殊要因	-	**▲305**	
カカオ特殊要因を除く営業利益 (のれん償却除く)	▲52	**▲6**	+46

施策
- ✓ カカオ在庫の縮減
- ✓ 販売価格改定
- ✓ 差別化製品の強化

2025年度は、**事業利益15億円**、
カカオ特殊要因は**▲30億円（対前年+275億円の改善）**を見込む。

成長 サステナブル調達／主原料を取り巻く環境

不二製油株式会社

主原料の生産地で抱える社会課題に対して、先駆けた取り組みを推進。

主原料を取り巻く社会課題

- グローバル企業・欧州を中心に、社会課題への意識の高まり
- 欧州森林破壊防止規則（EUDR）の施行予定

不二製油の取り組み

パーム油を中心に、日本企業では先駆けて取り組みを実施。

パーム油の農園までのトレーサビリティ

95%

2023年度実績

RSPO認証油比率

60%

CERTIFIED SUSTAINABLE PALM OIL ™
RSPO
2-0009-04-100-01

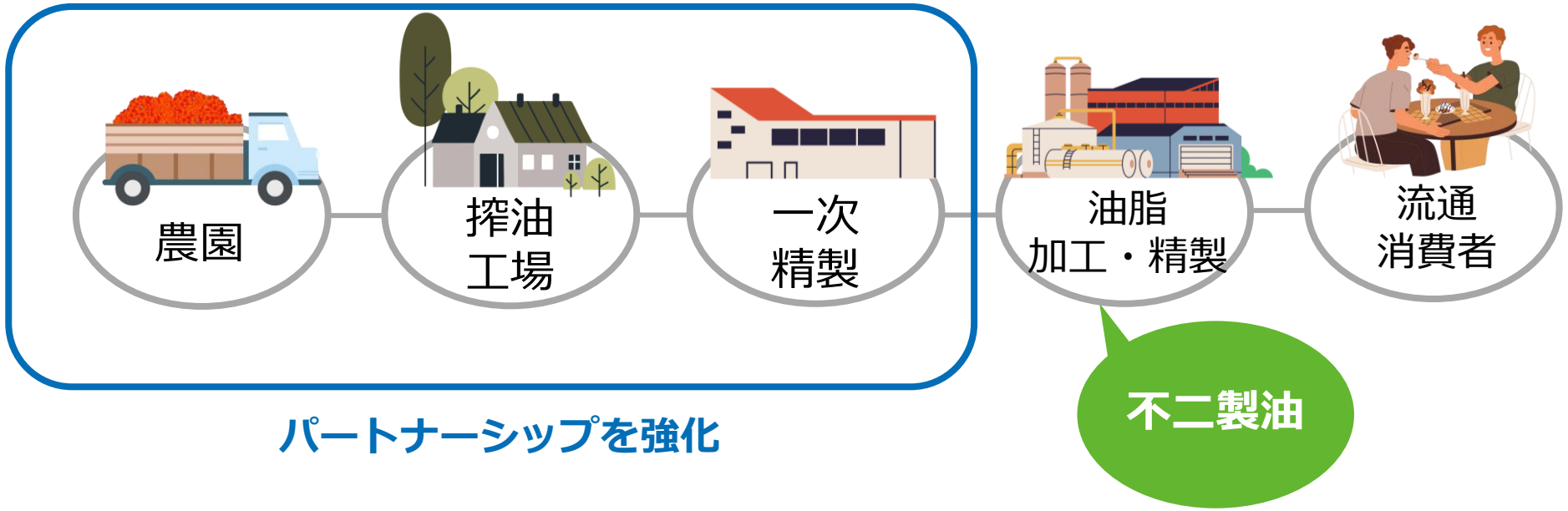
2023年度実績

成長 サステナブル調達／川上とのパートナーシップを強化

不二製油株式会社

サステナブルで高品質なパーム油の確保が、競争優位性を高める。

パーム油のサプライチェーン



2018年度 ユニフジ（マレーシア）稼働、2026年度 JPGフジ（マレーシア）稼働予定
サプライチェーンの強化が、植物性油脂事業の収益に貢献

成長 植物性食品で食の選択肢をひろげる

植物性食品の「おいしい」多様な選択肢を提案する、GOOODNOON活動を推進。

GOODNOONが目指す世界

The World We Aim For

GOODNOONが提供するのは、
おいしくてわかりやすい植物性食品。
植物性食品の安定した提供により、
人と地球の健康を考え、選択肢を増やし、
新たな時代の食のスタンダードとして、
誰もが心から食事を楽しめる。
そんな世界の現実を支えたい・・・
それがGOODNOONの想いです。

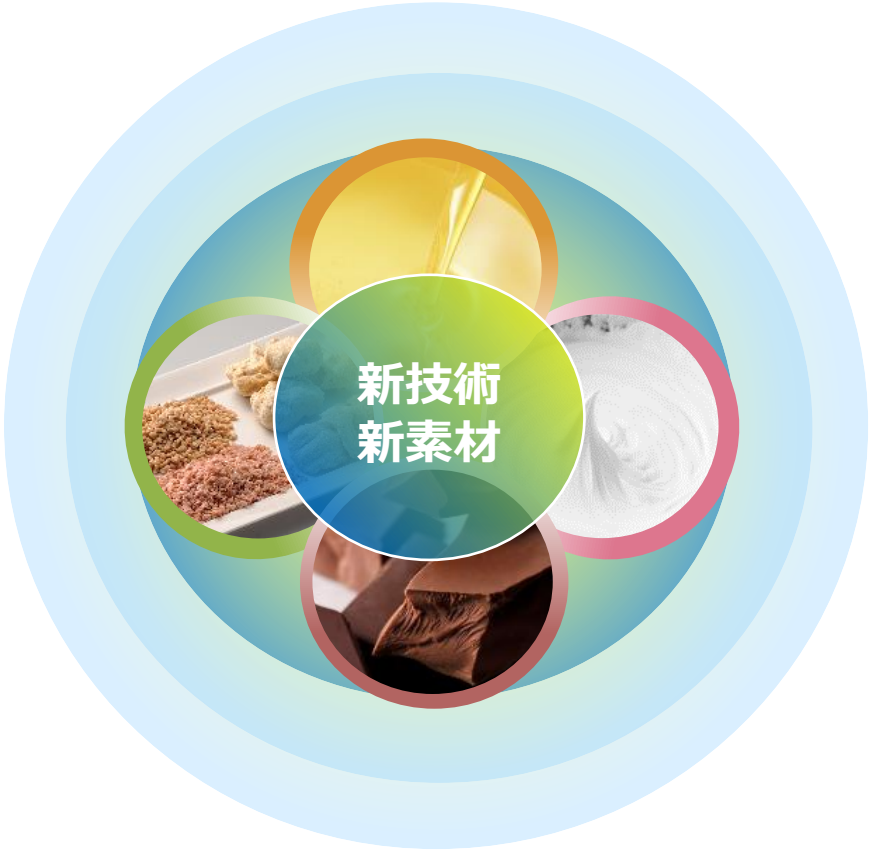
成長

植物性素材のおいしさの追求

不二製油株式会社

4事業の技術を融合させることで、おいしい植物性素材を創出。

4事業の技術融合



目次

不二製油株式会社

1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	成長戦略と課題への対処
4章	サステナブルな食の未来に向けて

未来年表

未来年表（2050年）

【人口／経済／環境／食糧／ヘルスケア】

人口 90億人

CO_2排出量 1/5

65歳以上の割合 17%

パーム油充足率 80%

健康課題を有する人口 43億人

カカオ充足率 40%

パーム油、カカオの需要に対する供給の充足率

サステナブルな食の未来に向けて

油脂酵母によるサステナブルなパーム代替油脂

カカオ豆由来の原料不使用のミルクチョコレートタイプ

EXPO2025（大阪・関西万博）への出展

■出展期間　　2025年8月13日～9月12日　(除く、8月18日～8月24日)

■出展場所　　西ゲートゾーン　W05　ORA外食パビリオン2F「宴～ UTAGE ～ラボ」

■プログラム

・MIRACORE®　国内外向け試食体験プログラム

・新しくておいしい未来のレシピ体験プログラム

・チョコレートに関する食育プログラム

・チョコレート嗜好診断

ORAパビリオン外観

サステナブルな食の未来を共創

不二製油株式会社

不二製油株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。